



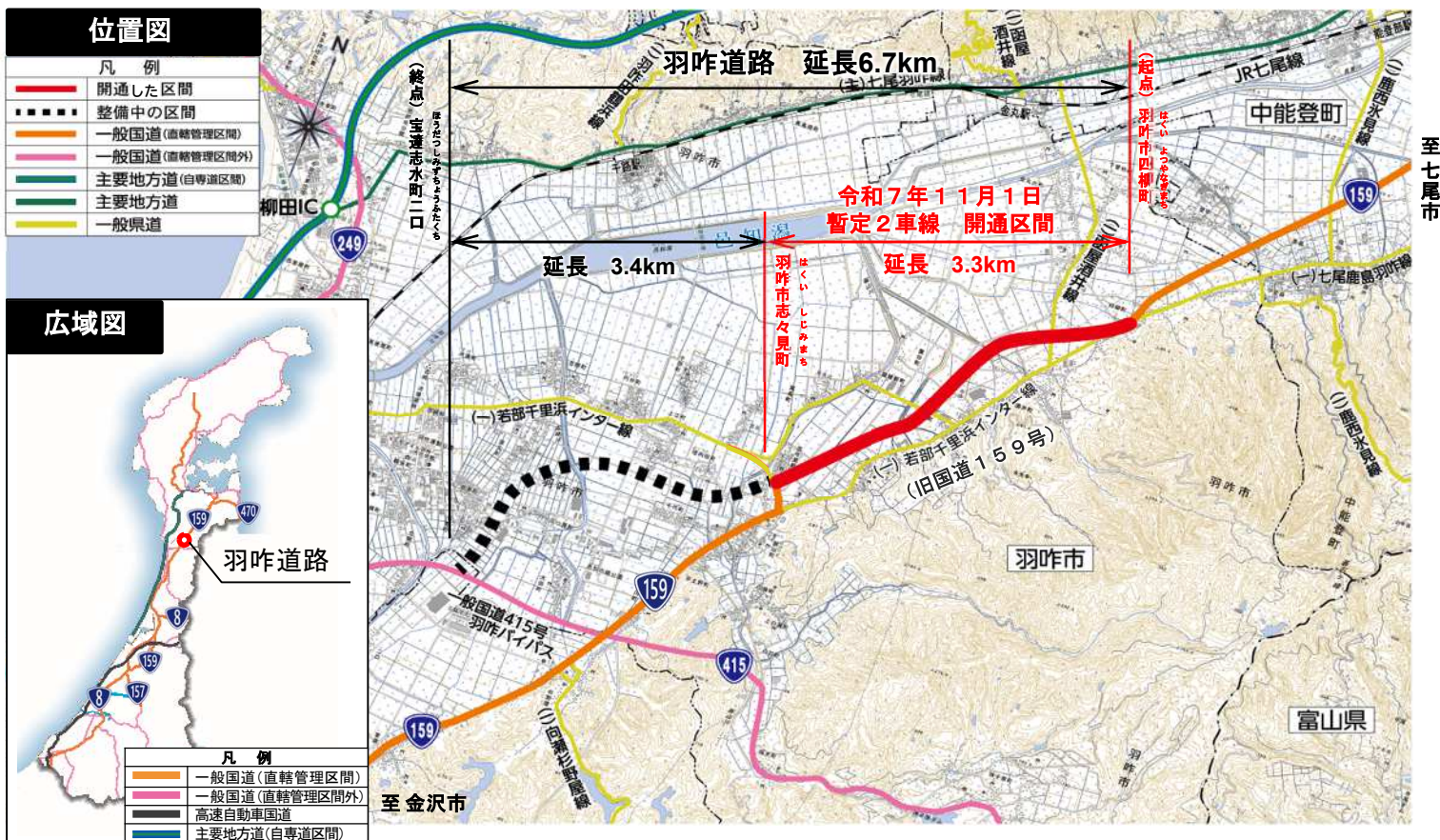
令和8年6月1日
配布：石川県政記者クラブ
扱い：配布後解禁

159 羽咋道路(四柳町～志々見町)開通6ヶ月後の整備効果

令和7年11月1日(土)に開通した国道159号羽咋道路(四柳町～志々見町)の整備効果についてお知らせします。

開通6ヶ月後の整備効果

- 羽咋道路の整備により、旧国道159号(現若部千里浜インター線)から羽咋道路へ交通が転換されました。
- 〈①安全性の向上と住環境の改善〉
 - ・交通が羽咋道路に転換することにより、旧国道159号沿線の**歩行者の安全性が向上**しました。
 - ・旧国道159号の騒音及び振動が低減し、**沿線の居住環境の改善**につながりました。
 - 〈②アクセス性の向上〉
 - ・走行性の高い羽咋道路を通行することで、第三次救急医療施設である公立能登総合病院へのアクセス性が向上し、**迅速な救急救命活動の支援**に寄与しています。



お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 計画課長 石山 良太

住所：金沢市西念4丁目23番5号 電話：076-264-9912(計画課直通)

事務所HP：https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/index.html

事務所X：https://x.com/KanazawaBousai

【事務所HP】



【X】



整備効果①

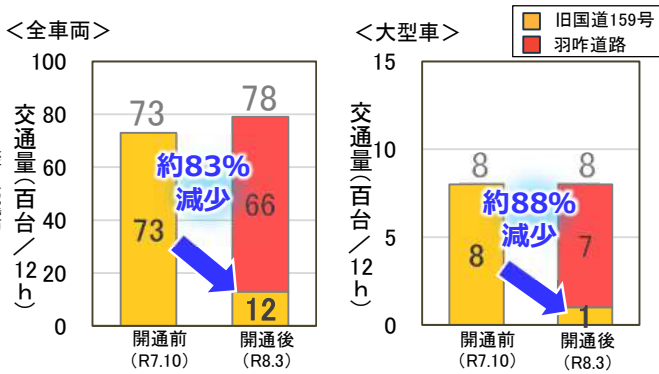
安全性の向上と住環境の改善



- 大型車の約9割が旧国道159号から開通した羽咋道路に転換し、集落内の**歩行者の安全性が向上**しました。
- 旧国道159号を通行する車両が約8割減少したことで、**騒音及び振動が低減し、旧国道159号の沿線の居住環境の改善**に繋がりました。

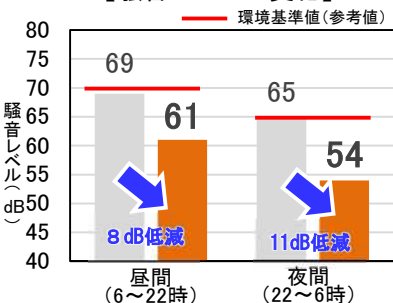


【交通量観測地点の交通量の変化(平日)】

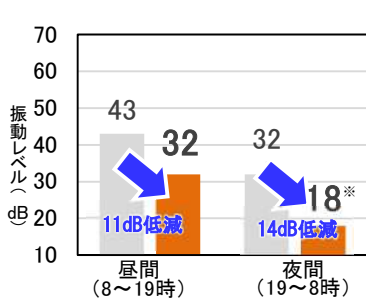


出典：交通量調査(開通前：R7年10月21日、開通後R8年3月3日実施)

【騒音レベルの変化】



【振動レベルの変化】



*18dBは振動計の定量下限値(25dB)未満であるため参考値

令和6年1月の能登半島地震後、国道159号は大型車の通行が増えました。それが羽咋道路の開通で大きく減って、**通学する生徒の安全性が向上**したと感じています。

(地元中学校関係者)

遠方から通学している児童はスクールバスを利用しています。バス停にたどり着くまでにどうしても旧国道を横断しなければいけません。旧国道の交通量が減ったことで、**児童の安全性が向上**したと感じています。

(地元小学校関係者)



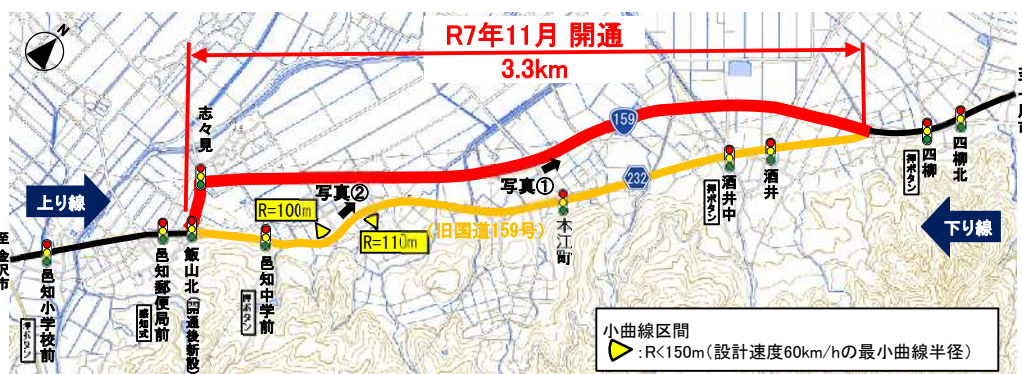
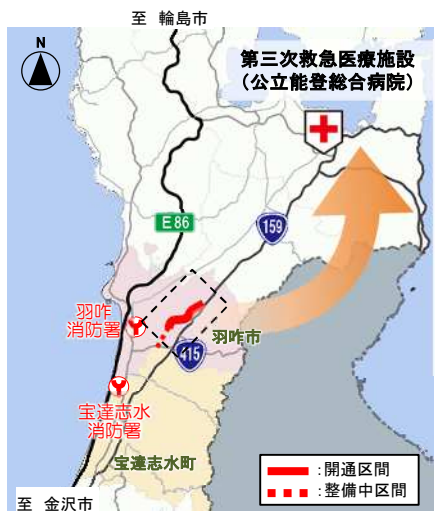
出典：ヒアリング調査(令和8年2月)

整備効果②

アクセス性の向上

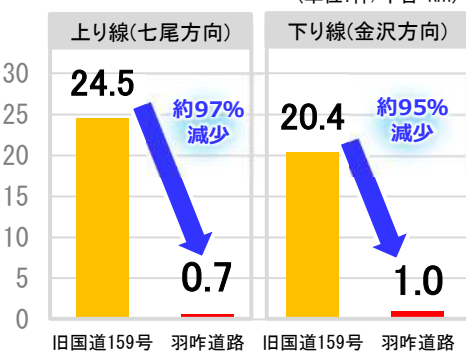


- 旧国道159号には、急カーブ区間が2箇所が存在します。
- 走行性の高い羽咋道路を通行することで、第三次救急医療施設である公立能登総合病院へのアクセス性が向上し、**迅速な救命救急活動の支援**に寄与しています。



【急ハンドル発生割合】

(単位：件/千台・km)



【写真①】

旧国道159号急カーブ区間



【写真②】

羽咋道路道路の状況



開通区間は旧国道と比較してカーブ区間が少ないことから、搬送中の傷病者の負担軽減に繋がっています。また、救急搬送時に交差点を通過する際は徐行する必要があるため、**交差道路の少ない開通区間の方が一時停止や減速が少なく、搬送時間の短縮**に繋がっています。(羽咋郡市広域圏事務組合消防本部)

出典：ヒアリング調査(令和8年2月)

出典：ETC2.0プローブ情報(R7.11 平日) ※急ハンドル：左右加速度が±0.3G以上を集計 ※羽咋道路の飯山北～志々見交差点間を除く